

トライベッカ映画祭2017  
ドキュメンタリー・コンペティション部門  
ワールドプレミア上映

TRIBECA  
FILM  
FESTIVAL  
2017

モスクワ国際映画祭2017  
ドキュメンタリー・コンペティション部門  
上映

アデレード映画祭2017  
ドキュメンタリー部門  
ノミネート

インディペンデント・スピリット・アワード2018  
ドキュメンタリー賞  
ノミネート

この願いは、いまを生きるわたしたちの希望

# いのちの 深呼吸



なぜ自ら命を絶つのか？  
自殺志願者に語りかけ寄り添い続ける  
日本人僧侶・根本一徹の活動を  
エミー賞受賞監督が追った  
感動のドキュメンタリー！

登場人物：根本一徹  
監督・製作：ラナ・ウィルソン  
挿入曲：クリスチャン・フェネス+坂本龍一、他  
編集：デヴィッド・ティーク / 撮影：エミリー・トッパー  
オリジナル音楽：ネイサン・ミシェル  
共同プロデューサー：エリ・ヨコヤマ  
エグゼクティブ・プロデューサー：  
サリー・ジョー・ファイファー / リリー・ハートレイ  
マイク・ラーナー / ダイアン・L・マックス  
レジーナ・K・スカリー / ジェフリー・タラント  
共同エグゼクティブ・プロデューサー：  
クレア・シルバマン  
製作：Drifting Cloud Productions  
Roast Beef Productions  
共同製作：ITVS  
製作協力：Candescant Films  
Artemis Rising Foundation  
2017年 / アメリカ / 日本語 / デジタル / 87分  
宣伝デザイン：プランニングOM  
予告編：イメージ・フォース  
宣伝パブリシティ：平井直子  
協力：柳川由加里  
配給：バンドラ

推薦：厚生労働省 後援：一般社団法人日本自殺予防学会

THE  
DEPARTURE  
A FILM BY LANA WILSON



DRIFTING CLOUD PRODUCTIONS AND ROAST BEEF PRODUCTIONS PRESENT A COP PRODUCTION BY ITVS IN ASSOCIATION WITH CANDESCANT FILMS AND ARTEMIS RISING FOUNDATION. A FILM BY LANA WILSON. "THE DEPARTURE" EDITED BY DAVID TEAGUE. CINEMATOGRAPHY BY EMILY TOPPER. ORIGINAL MUSIC BY MATTHEW ANCHER.  
CO-PRODUCED BY ERI YOKOYAMA. EXECUTIVE PRODUCERS SALLY JO JOYNER, LIZZY HASTLEY, MIKE LEROUX, BLAINE L. MAXX, REGHAN K. SCHULY, JEFFREY DURANT AND EXECUTIVE PRODUCER CRAIG SILVERMAN. DIRECTED AND PRODUCED BY LANA WILSON.

ITVS

ARTEMIS RISING

CANDESCANT

TRIBECA

DOGWOOL

DRIFTING CLOUD PRODUCTIONS

いのちの深呼吸.com

©DRIFTING CLOUD PRODUCTIONS, LLC 2017



\* 監督は本作を通して「心に耳をひらく」ことの大切さを描きたかったのではないかと静かで強いドキュメンタリー映画だ —— 坂本龍一さん(音楽家)

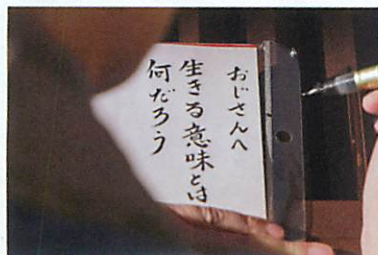
\* この困難な時代に希望の灯火のような映画だ —— 茂木健一郎さん(脳科学者)

挿入曲:クリスチャン・フェネス+坂本龍一、他  
エミー賞受賞監督が紡ぐ、自殺大国ニッポンの“真実”——

いじめ、リストラ、ひきこもり、貧困、介護…。「生きづらい」と言われて久しい、私たちの国ニッポン。自殺は今や若者の死因の1位を占め、SNSには「死にたい」「消えたい」などの言葉が氾濫している。なぜ、日本人は死に急ぐのか？ エミー賞受賞監督のラナ・ウィルソンは、自殺防止活動に取り組む僧侶・根本一徹の日常を通して、日本社会の<現実>を浮き彫りにしていく。

自殺志願者と同じ目線に向き合い、ともに苦悩しながら、「生きていこう」と必死に語りかける姿は、世界各国の映画祭で驚嘆と感動の嵐を巻き起こした。人生の意味を問いかね、新たに生きる力を与えてくれる、すべての日本人必見の“希望”のドキュメンタリー！

いのちの深呼吸  
THE DEPARTURE



「もう、誰も死なせたくない——」日本人僧侶・根本一徹の日常

岐阜県、関市。大禅寺の住職、根本一徹(46)のもとには、全国各地の自殺志願者から日々、インターネットや携帯電話を通じて、救いを求めるSOSが届く。自殺未遂を繰り返し、自暴自棄になって大量の精神薬に逃げ込む男や女たち…。彼らに共通するのは、日常生活で追いつめられ、家族や友人を頼ることもできず、自分を不要な人間だと思いつつ「孤独な心」。かつて身近な三人の自殺という壮絶な体験をした根本は、彼らが絞り出す言葉に静かに耳を傾けるが、すべてを犠牲にする彼の活動は限界にきていた…。

※音声聞き取りにくい箇所があるため字幕を入れています。ご了承ください。

**自殺大国ニッポンの現状**

日本の自殺死亡率は  
主要先進7ヶ国の中で最も高い

🕒 2017年の自殺者数2万1321人  
(30分に1人が自殺している)

👤 約4人に1人が「本気で自殺したいと考えたことがある」

※出典:「平成28年度 我が国における自殺の概況及び自殺対策の実施状況」と、厚生労働省自殺対策推進室 警察庁生活安全局生活安全企画課の資料から。



**鳴り止まない拍手! 各国から絶賛の声!**

生き続ける勇気をもらえる  
魔法のような映画だ —— ビレッジ・ボイス

辛さや優しさなど  
生命の卓越した瞬間を探し求める映画だ!  
—— ワシントン・ポスト

他人を助けるため 肉体系も精神面も犠牲にした男の生き方を静かに証明している  
—— ハリウッド・レポーター

9月上旬よりロードショー

お得な特別鑑賞券 絶賛発売中! ¥1,300(税込)  
(当日一般¥1,700/大学・専門・シニア(60歳以上)¥1,200の処)

※上映時間は劇場にお問合せください

公開期間中、根本一徹さん他のトークイベントを開催予定! 詳細は [いのちの深呼吸.com](http://いのちの深呼吸.com)



**ポレポレ東中野**  
TEL 03 3371 0088  
www.mmjp.or.jp/pole2/  
JR東中野駅西口改札北側出口より徒歩1分  
地下鉄大江戸線東中野駅A1出口より徒歩1分

